

【学校教育目標】

- 進んで学び、進んで考える生徒
- 心豊かで、創造力に富み、自律ある生徒
- たくましい、健康な体を持つ生徒
- 郷土に誇りと愛着を持つ生徒

「めざす生徒像」

自分の力を信じ、可能性を追求し続ける生徒

【経営方針】

- 1 確かな学力【知】・豊かな心【徳】・健やかな身体【体】の調和がとれた教育活動の実践を通じ、生徒の自尊感情の健全化を図る。
- 2 学校運営協議会を母体とした目標達成型の学校経営と地域との協働を通じて、開かれた学校づくりを推進する。
- 3 「田野畑学」「人権教育」「生徒支援」「学力向上」を軸とした教育活動の展開を通じて、郷土に誇りを持ち、郷土の復興・発展を担う人材の育成に努める。

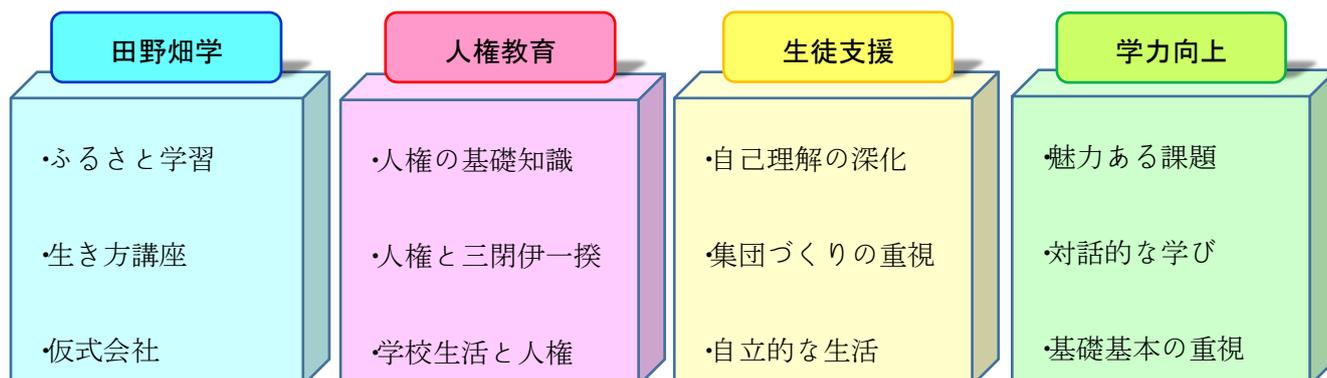
【めざす学校像】

- 地域に元気と未来を発信する学校
- 明るい挨拶と笑顔にあふれる学校
- 生徒同士が豊かに関わり合う学校
- 師弟同行の心で教育に取り組む学校
- 健康と安全と衛生の行き届いた学校

【めざす教師像】

- 生徒の主體的な学びのために、日々研鑽に努める教師 【研修】
- 生徒の悩みや痛みに寄り添いながら、支援出来る教師 【愛情】
- 人としてのよりよい姿を求め、生徒を正しく導く教師 【信念】
- 地域や保護者の思いを共有し、教育を実践できる教師 【連携】
- 目標の達成に向かって、一致団結して努力できる教師 【協働】

【教育活動4つの基軸】



【令和3年度の具体的指針】

1. 田野畑学

- ・自尊感情について改めて学習し直し、日常や諸行事のねらいとふりかえりに生かす。
- ・「ふるさと学習」の定番化を進める。(例：わかめの学習は2年1学期など)
- ・「生き方講座」のコンテンツの魅力を高めるため、講師の選定を吟味する。
- ・「Comaru」の年間スケジュール化を進め、計画的かつ安定的な活動へと進展させる。

2. 人権教育（研究指定校2年目）

- ・主たるテーマを「三閉伊一揆と人権」とし、関連付けた学習を進める。
- ・人権の基礎知識と三閉伊一揆の歴史を学ぶ機会を並行させながら取り組む。
- ・一揆を学びながら当時の人権と現代との比較を行い、人権の本質に迫る。
- ・出来るなら文化祭に学習の成果として発表の場を設けたい。

3. 生徒支援

- ・生徒を指導するという視座ではなく、よりよき成長の支援という立脚点に立つ。
- ・問題行動や適応支援において、生徒の内面や取り巻く背景を重視しながら策を講ずる。
- ・自らの在り方を自らで問う「自問自答する生徒」の育成を通じ、思考力と自制心を涵養する。
- ・学級経営を柱に、学校生活の中で「誰かのために自分を生かす生徒」の育成を図る。
- ・主体的かつ自立的な生徒会運営を通じて、発見→思考→実践のサイクル化を構築する。

4. 学力向上

- ・教師相互の参観機会を増やし、授業改善への不断の努力を積み重ねる。
- ・生徒が主体的に学習に参加できるような課題づくりに向けて、各教科で創意工夫に努める。
- ・教師と生徒及び生徒相互による啓発的な学習となるよう、対話的な学習場面を創り出す。
- ・基礎基本の確実な定着を図るため、朝学習や家庭学習の内容を吟味する。
- ・自尊感情の健全化を学習意欲に転嫁させ、生徒個々のキャリア発達を促す。
(自分の得手不得手の理解、社会や職業に対する興味関心、知的好奇心の喚起等)

<田野畑中学校職員室の大切な文化 ～ 学校の主役は生徒である>

1. 全ての生徒の可能性を信じ、生徒の「よりよく生きたい」「成長したい」心を引き出すこと。
2. 全ての教職員が全ての生徒に責任を持ち、一人一人に均質なまなざしを注ぐこと。
3. 生徒を語る際は、愚痴や悪口に留まることなく、肯定的な内容に帰結させること。
4. 日常の出来事を大切にし、課題や問題性ばかりでなく、「よさ」にも言及し合うこと。
5. 教職員相互が情報交流と意見交換に務め、互いに謙虚な心で耳を傾けること。
6. 事案が発生した場合は、全ての教職員が個々の役割を自覚し、結束して対応にあたること。
7. 生徒の実状を一つの事象や一人の思い込みで判断せず、多面的かつ複眼的に把握すること。
8. 最善の策や次善の策を求めて、教職員間で議論を深めること。
9. どのような事案に対しても正面から向き合い、あきらめない気持ちで関わること。
10. 問題行動等への対応は、「生徒の未来のため」に徹しながら、保護者との協力関係を築くこと。